



さいたま市セーフコミュニティ事前指導を開催しました！

平成30年1月30日、31日にさいたま市セーフコミュニティ事前指導を開催しました。セーフコミュニティ国際認証センターから2名の審査員を招へいし、さいたま市の現在の重点課題、それに対する取組状況を5つの対策委員会ごとに報告し、アドバイスをいただきました。

主なアドバイス

・高齢者の安全

- 1.近年、誤嚥・誤飲が増えているための分析するべきである。
- 2.若者や女性の委員が少ないのは、不公平、委員に加えるべきである。



・子どもの安全

- 1.子どもの遊び場の安全対策もする必要がある。
- 2.保護者の情報交換手段から取組に対してアプローチするべきである。

・自転車の安全

- 1.道路や交差点で、どのようなケガをしているか分析すべきである。
- 2.年齢別にどこをケガしたのか分析し、ヘルメット着用を進めるべきである。



・自殺予防

- 1.自殺理由のデータを年齢別に細かく調査する必要がある。
- 2.さいたま市は人口が多いため、各区ごとの自殺理由を調査するべきである。

・DV防止

- 1.どうやったらDV自体が起きないようにするか一時的な予防も必要である。
- 2.男性のDV被害者が10倍になっている点にも着目すべきである。



現地視察(自転車交通安全教室)

31日、針ヶ谷公民館にて、自転車の安全対策委員会と高齢者の安全対策委員会が協力して、自転車の交通安全教室を実施し、25名の高齢者を対象に、シミュレーターを体験していただきました。受講者の感想として「左右の安全確認の重要性を再認識した」、「自分の自転車の運転を考えさせられた」等のご意見をいただき、運動能力の低下、交差点での注意不足に気づいていただいたため、今後の交通事故の減少にもつながっていくと思いました！

歩行者シミュレーター



自転車シミュレーター

